
ウルトラマンメビウス 外伝

tori

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ウルトラマンメビウス 外伝

【Nコード】

N5631K

【作者名】

tori

【あらすじ】

暗黒四天王復活！エンペラー星人復活の最後の切り札とは？
ウルトラ兄弟の新たな戦いが始まる！

序章

M78星雲 光の国

ウルトラの父は6兄弟を集結させた。

6兄弟の一人タロウはウルトラの父に聞く

「いったいどうしたのですか？父さん」

「うむ。怪獣墓場で異常をキャッチしたのだ。ウルトラマン セブ
ン ジャック エースよ。直ちに調査に向かってくれ」

「わかりました。行くぞ！」

シュワッチ デア シュアア イエー、

「ゾフィー、タロウ 君たちは状況によって救援も考えられる。

今は待機だ。パトロール中のメビウスとヒカリにウルトラサイ
ンを送るのだ」

暗黒四天王

宇宙空間

「メビウス あれを。」

「あれはゾフィー兄さんからのサイン！ 『怪獣墓場で異常をキャッチ。付近に警戒せよ』」

「いったい何が起こったのだ？」

その時、メビウス達めがけ、光線が放たれた！

「うああ。大丈夫かヒカリ！」

「ああ。あれはインペライザー！しかもかなりの数だ！」

「ヒカリ 手分けして一気にたおすぞ！」

悠然と敵に向かっていくメビウスとヒカリ

デアア！

メビウムブレード ナイトブレードなど様々な技でインペライザーの群れを倒してゆく

その頃怪獣墓場では

シエア！

「たしかに恐るべき雰囲気を感じますね・・・」

エースは言った

「これほどにまで強力なエネルギーが感じられるとは・・・」

とセブン

「きつと何か恐ろしいことの始まりかもしれん」

マンが言う

「兄さん達 あれを！」

ジャックの指すほうにはなんとなぞの巨大円盤が

4人が近くに行くと円盤のそばには

なんとあのウルトラ戦士の宿敵 暗黒四天王が

「お前たちは！」エースが身構える

「おやおや どうやらもうあらわれたようですね」知将メフィラス星人、いや今は鎧を身にまとったアーマードメフィラスだ

「お前たちは以前二度も倒されている！なぜ再び現れた？」ジャック
「ふん！お前たちウルトラ兄弟に対しての復讐のためなら何度でも復活するのだ」

そう答えるのは謀将デスレム

「ええい！おしゃべりはその辺にしていいい加減あいつらを倒すぞ！」
豪将グローザム。不死身のボディを持つ

「そうだ！俺たちには時間がない」意味ありげなことをほのめかしたのは邪将ヤプール

一方、光の国では、

「あれはウルトラマンからのウルトラサイン！」ウルトラの母が言う
「やはり、恐れていた通りだったか。」

「おそらくヤツらの狙いはエンペラー星人復活でしょう。しかしどうやって？」

「それはまだわからん。ウルトラの父、彼を呼び戻しますか？パトリールにでていますか？」

そう問いかけるのはゾフィー、宇宙警備隊長そしてウルトラ兄弟の長男だ

「彼……。まだ若いがベリアル事件の際、偉大な活躍をしたウルトラ戦士ウルトラマンゼロ。そうしてくれ……。」

シユアアア メフィラスに向かっていくウルトラマン ウルトラ兄弟2番目の弟

八つ裂き光輪やパンチ等でメフィラスと互角に戦う！

デアアア グローザムに挑むのは我らがセブン！ 兄弟3番目だ

アイスラッガー エメリウム光線などで不死身のグローザムにいどむ

ヘアアア デスレムの攻撃をウルトラ×字バリアーで防ぐのはジ

ヤックだ

兄弟4番目の彼は得意のウルトラブレスレットを駆使し敵を圧倒する
イエエー 永遠の宿敵ヤプールとケリをつけるべくエースが
光線系の技を得意とする5番目の弟、地球滞在時にも発揮した数多
くの技でヤプール
と戦う

しかし．．敵も負けてはいない。一瞬のすきを突かれ4兄弟は押
されていった。

そして、ついに敗北してしまう。

「グローザム！彼らにとどめを刺しなさい！」

「ふん！貴様に言われなくてもやるわ。」

グローザムは口から冷気をはき4兄弟を凍らせてしまう

ウルトラマンゼロ、再び

時を同じくし、宇宙空間ではメビウスとヒカリはかるうじてインペライザーの大軍を撃破した。

「なんとかやったな、ヒカリ。ありがとう。」

「ああ、おれたちは地球滞在時から一緒にたたかってきた仲間じゃないか。これぐらいのことは何でもないことさ。」

「そうだな。僕たちは無言でも意思がつうじあえるぐらいだからな。」

「

「ああ」

その時だった。怪獣墓場から飛行円盤が！

「あの円盤が敵だ！追うぞ！」

ヘアア！円盤を追うメビウス達

「どうやらまた死に來たやつらがいるな。俺様が行くぞ」

突如 円盤から現れたのはグローザム！

「あれはグローザム！ヒカリ、あいつは僕がひきつける。君は円盤を追ってくれ。」

「メビウス、気をつけろよ」

「グローザム 僕が相手だ！」

メビウスはグローザムの攻撃をかわしつつ、近くの小惑星に降り立ち、対峙した。

デアア！ヘアア！グローザムとメビウスの激しい攻防がくり広げられる。

また、一方のヒカリも同じく円盤からあらわれたヤプール、デスレムと戦う。二大星人に苦しむヒカリ。

光の国では、

「ウルトラマンゼロよ、來たか。」

「ああ」

「すでにウルトラマン、セブンら4兄弟が敗北し、今メビウス、ヒカリが暗黒四天王達と戦っている。ゼロよ、今回も君の力も大いに必要となるう。」

ウルトラの父は目の前にいる若き戦士にいう

「親父もやられたのか？」

「うむ。ゼロよ、我々とともにメビウス達の救援に向かうぞ。」

ゾフィーはいった。

「わかった」

「みんな、気をつけてね。」とウルトラの母。

シエア！　ハアー！　デア！

デアァ〜。グローザムのアイス弾（？）を受け吹き飛ばすメビウス再び放たれたアイス弾をよけ、メビウムスラッシュを放つが、
「言ったはずだ！俺は不死身のグローザム。そんな技など通用せんわ。」

グローザムはダメージを受けたはずの体の部分を再生してしまう。
そして4兄弟を凍らせた冷気をはいた！なんとかそれをよけきろうとしたメビウス・・・だが、全身凍結はさけられたものの足だけは凍らされてしまった。

「これでおわりだ〜！」

ついにグローザムのとどめがメビウスにくらわされそうになった・・・。

そのとき！

一筋の光線がグローザムに直撃した！

「ぐああああ・・・。な、何者だ！」

「ウルトラマンゼロ！セブンの息子だ！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5631k/>

ウルトラマンメビウス 外伝

2010年10月10日16時29分発行